

# 第4回東京都北区資源循環推進審議会

平成25年1月31日  
午後2時開会  
第二委員会室

## 次 第

○ 開 会

○ 会長挨拶

## 議 題

- 1 北区のごみの組成割合について
- 2 家庭ごみ（生ごみ）の減量について
- 3 家庭ごみ（雑がみ）の資源化について
- 4 小型家電・金属の資源化について
- 5 廃プラスチック類の資源化について
- 6 その他

(1) 次回審議会の開催日程について

- ・日時 平成25年4月24日（水）午後2時
- ・会場 北区議会第二委員会室

○ 閉 会

### 《配付資料》

- |     |                        |
|-----|------------------------|
| 資料1 | 北区のごみの組成割合（21～23年度平均値） |
| 資料2 | 検討テーマ1 家庭ごみ（生ごみ）の減量    |
| 資料3 | 検討テーマ2 家庭ごみ（雑がみ）の資源化   |
| 資料4 | 検討テーマ3 小型家電・金属の資源化     |
| 資料5 | 検討テーマ4 廃プラスチック類の資源化    |

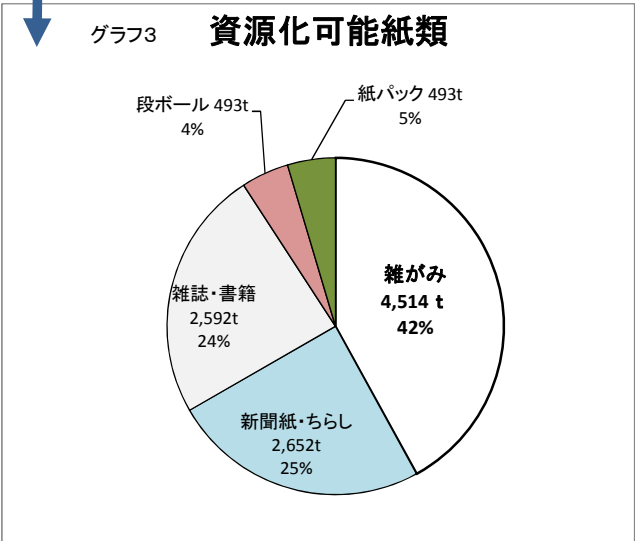
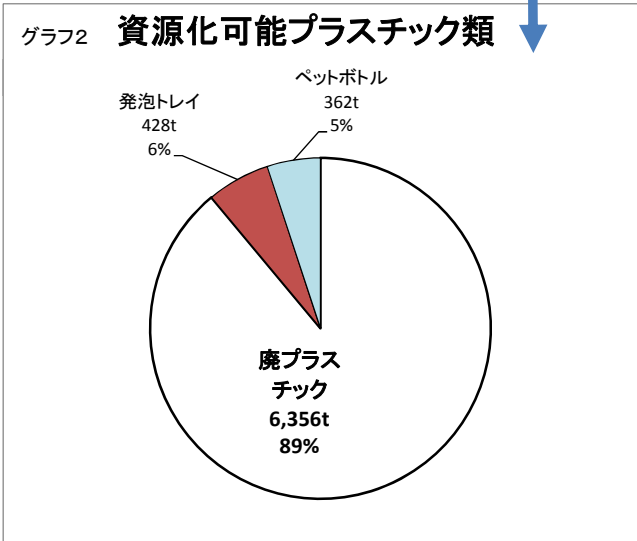
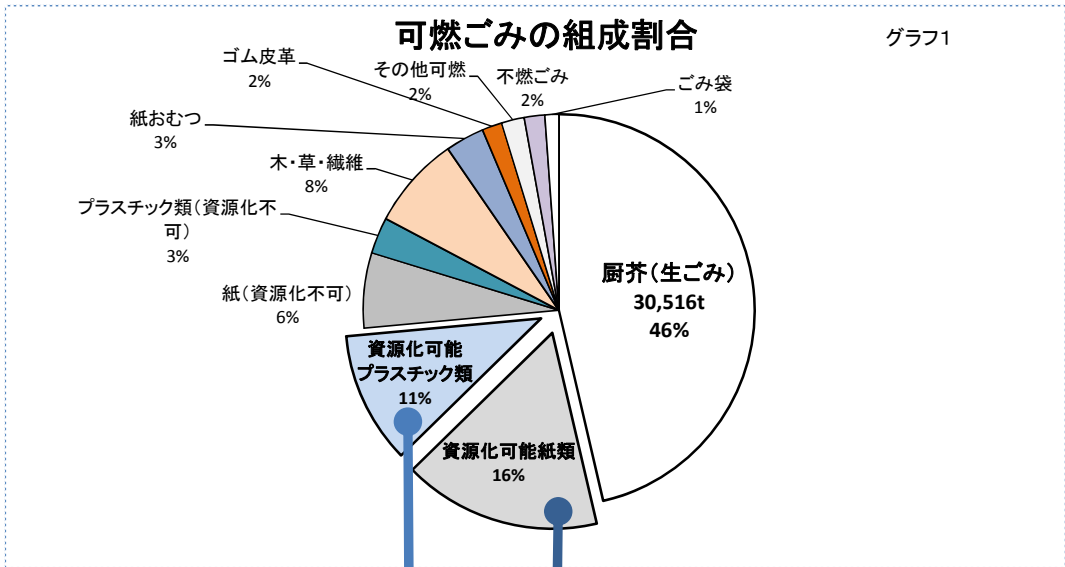
### 《参考資料》

- |       |              |
|-------|--------------|
| 参考資料1 | 生ごみの水切りについて  |
| 参考資料2 | 雑がみに関する葛飾区の例 |
| 参考資料3 | 小型家電リサイクル法制度 |

## 北区のごみの組成割合(21~23年度平均値)

可燃ごみ及び不燃ごみの中に、生ごみ・紙類(主に雑がみ)・廃プラスチック類(主に容器包装のその他プラ)・小型家電(推計値)がどのくらい含まれているのかを調べるため、北区ごみ組成調査報告書を参考に平成23年度の可燃ごみ総量(65,796t)、不燃ごみ総量(3,264t)から推計ごみ量を算出した。

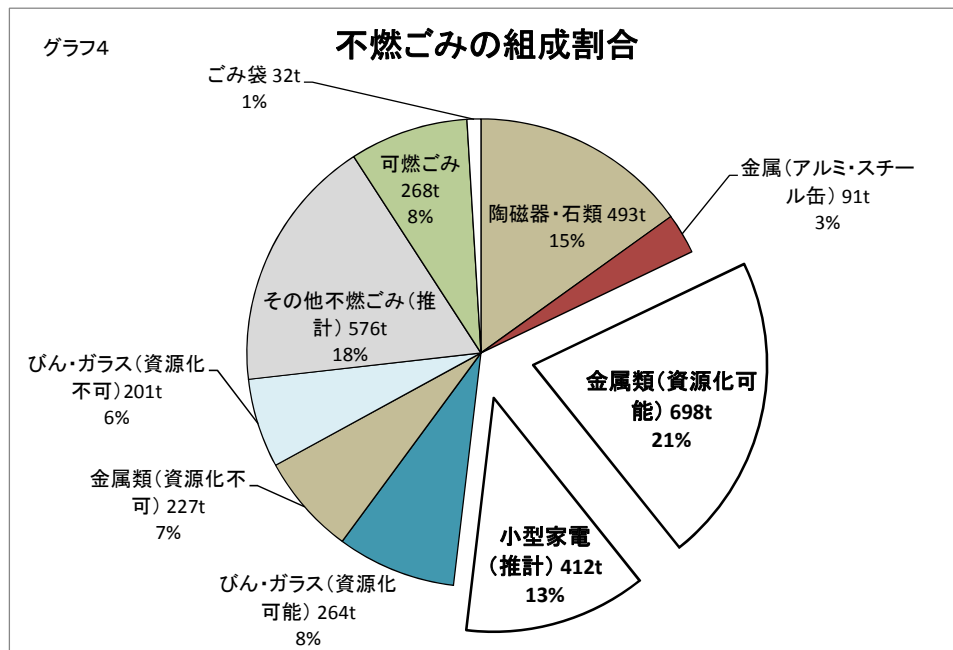
ただし、組成調査はごみの調査対象数に限りがあり、各年度で項目にばらつきがあるため、過去3年間のごみの組成割合の平均値から推計ごみ量を算出した。



### 可燃ごみの組成割合について

グラフ2の資源化可能プラスチック類の廃プラスチックの例としては、プラスチックのボトル、歯磨き粉等のチューブ類、玉子パック・ペットボトルの蓋等のプラスチック容器類、ラップ・袋等のプラスチック包装類、レジ袋(外袋除く)等。

グラフ3の資源化可能紙類の雑がみとは、新聞紙・雑誌・段ボール・紙パック等を除いた菓子箱・紙袋・コピー用紙・はがき・封筒(窓なし)等のもの。



#### 不燃ごみの割合について

金属類(資源化可能)の例としては、なべ・やかん・ハンガー等。  
 なお、金属(アルミ・スチール缶)は既存のリサイクルルートに流れなかったもの。  
 小型家電については、その他不燃ごみの約50%として推計した。  
 びん・ガラス(資源化可能)は、ビールびん等の生きびん、無色や茶色、その他の色雑びん等。  
 金属類(資源化不可)の例としては、スプレー缶、塗料缶等。  
 びん・ガラス(資源化不可)の例としては、薬品・化粧品のびん、板ガラス、ガラスコップ、耐熱ガラス等。

## 検討テーマ 1 家庭ごみ（生ごみ）の減量

### ■エコプラン2018（東京都北区一般廃棄物処理基本計画）での記述

#### ○現況・課題

可燃ごみのうち、生ごみが49.3%（P14）

家庭ごみの減量化に向けては、可燃ごみの約5割を占める生ごみの対策が課題となる。一般的な生ごみは約80%が水分であること、調理くずが44%、未利用食品が28%を占めるとする調査結果もあること等を踏まえた施策を検討する必要がある。（P21）

#### ○基本計画内における取り組み方針

可燃ごみの約5割を占める生ごみは、約80%が水分である。ポリバケツを加工した「通気式生ごみ保管排出容器」を使用して、約18%程度の減量化を行った試行結果もあるため、この「通気式生ごみ保管排出容器」の普及拡大を図るとともに、ごみの減量に直結し、焼却処理の際には環境負荷の低減にもなる生ごみの水切りを推進する。

また一般的な生ごみの内訳は、調理くずが44%、未利用食品が28%という調査結果もあるため、区内の料理グループなどと連携したごみを出さない料理の研究・発表、講座の開催や、大量の未利用食品がごみとして捨てられていることを訴えること等により、生ごみの減量に積極的に取り組む。（P33）

### ■北区の主な取り組み

#### ○通気式生ごみ保管排出容器を用いたモニタリング調査（平成19年度）

通気式生ごみ保管排出容器を使って生ごみがどれだけ減るのか、個人の方や保育園に協力してもらい、モニタリングを実施した。

モニタリング参加者数	128人
回答者数	103人（内訳 個人73人、区立保育園30）
バケツ保管時総重量	783kg
排出日総重量	698kg
バケツ保管平均日数	1.5日
減量率	10.9%

### ■減量化のための具体策・他自治体での実施例

- ・有料化と合わせての実施「生ごみ入れません袋」（多摩市）
- ・生ごみ処理機購入費補助金制度（多数区市町村）

- ・家庭用生ごみ処理機を無料で貸出（港区）
- ・リサイクル講師の派遣（札幌市）
- ・生ごみ用 水切り器と水切りネット 無料配布（益子町）
- ・エコソングCD「尾張名古屋のごみ減量」（名古屋市）  
水切りを始め、ごみ減量をテーマにエコソングCD「尾張名古屋のごみ減量」を作成。環境に良いことをしてエコマネー40ポイントを貯めると、EXPOエコマネーセンターでCDと交換できる。
- ・生ごみ減量と水切りのアイデア募集（宇部市）
- ・ごみ減量・リサイクル啓発映像（尼崎市）

■生ごみの水切りについて（別添参考資料1）

- ・水切りの効果  
水切りを徹底し、厨芥（生ごみ）30,516 tのうち10%を減量すると約3,050 tのごみを減らすことができる。

## 検討テーマ 2 家庭ごみ（雑がみ）の資源化

### ■エコプラン2018（東京都北区一般廃棄物処理基本計画）での記述

#### ○現況・課題

可燃ごみのうち、紙類が23.2%（P14）

#### ○基本計画内における取り組み方針

集団回収は、資源化に対する意識の向上や子どもに対する環境学習の場、地域コミュニティの形成、行政回収のコスト削減にもつながることから、支援を推進する。特に、古紙については、行政回収から集団回収への移行を図る。（P33）

### ■北区の主な取り組み

#### ○集団回収事業（回収品目：段ボール、新聞紙、雑誌、牛乳パック）

平成23年度 紙類実績：7,495 t、参加団体数：352 団体

#### ○行政回収 紙類実績：8,389 t

※行政回収において雑がみは、雑誌等にはさんで出してもらい回収している。

### ■減量化のための具体策・他自治体での実施例

#### ・雑がみの分別の推進

※「雑がみ」とは、新聞、雑誌、段ボール以外の「再生できる紙類」

（別添参考資料2）

### ■想定回収経費

・雑がみは、可燃ごみの組成割合で推計資源量を算出すると、4,514 t ある。

そのうち 10%を分別回収すると、約 450 t のごみを減らすことができ、想定回収経費は約 1,500 万円かかる見込みである。

※想定回収経費は、推定資源量を車両で効率的に回収した場合のものであり、回収日数、車両の台数、回収方法、処理経費を考慮していない。

### 検討テーマ 3 小型家電・金属の資源化

#### ■エコプラン2018（東京都北区一般廃棄物処理基本計画）での記述

##### ○基本計画内における取り組み方針

その他プラスチック類や携帯電話等の分別収集品目の拡大については区民の協力なくしては行えないことから、資源化の進捗状況、温室効果ガスの削減量や経費面等の情報提供を行いながら、より北区にふさわしいシステムを構築する。（P36）

#### ■法令 国等の動向

##### ○小型家電リサイクル法（使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律）

市町村等が回収した使用済小型電子機器等について、これを引き取り確実に適正なリサイクルを行うことを約束した者（リサイクルをしようとする者で構成される）を国が認定し、廃棄物処理法の特例措置を講じる制度。平成25年4月1日施行。（別添参考資料3）

#### ■対象品目

一般消費者が通常生活の用に供する電子機器その他の電気機械器具のうち、効率的な収集運搬が可能であって、再資源化が特に必要なものを政令で指定。

- ・電気機械器具（電子レンジ、炊飯器、ポット、食器洗い乾燥機、掃除機など）
- ・通信機械器具（電話機、FAX、携帯電話など）・電子機械器具（ラジオ、ビデオ、CDプレーヤ、車載TVなど）
- ・電子計算機（PC、モニター、プリンターなど）
- ・電球、電気照明、時計、ゲーム機、電卓、楽器、電子玩具、電動工具、その他付属品など

#### ■減量化のための具体策・他自治体での実施例

【江東区】平成21年11月から使用済み小型家電製品の回収を実施。

- ・回収品目 15×25センチメートル以下の小型家電製品（電子機器）  
（例）携帯電話・デジタルカメラ・ビデオカメラ・ポータブル音楽プレーヤー・小型ゲーム機・電子辞書・電卓・カーナビ・ポータブルDVDプレーヤー・携帯用ラジオ・携帯用テレビ・付属品類・ハードディスクドライブ・リモコンなど
- ・区役所ほか区内各施設に「小型家電製品回収ボックス」を設置。  
（出典：江東区ホームページ）

## 江東区の回収ボックス



### 【足立区】

- ・新小型・軽小型ダンプ車により資源回収場所・ごみ集積所から収集し処理業者に搬入。粗大ごみは各戸収集し中継所でまとめた後、処理業者に搬入。
- ・収集物を、小型家電類、金属、ガラス、蛍光灯、プラスチック、陶磁器などに手選別（業者委託）
- ・手選別したものを、破碎・分別作業を行い、再生処分先に売却（業者委託）  
（出典：経済産業省 自治体における小型家電リサイクルの先進的取組事例）

### ■ 想定回収経費

- ・小型家電・金属は、不燃ごみの組成割合で推計資源量を算出すると、1,110 t あり。そのうち 10% 分別回収すると、約 110 t ごみを減らすことができ、回収費用は約 400 万円かかる見込み。
- ※ 想定回収経費は、推定資源量を車両で効率的に回収した場合のものであり、回収に係る日数、車両の台数、収集方法、中間処理に係る経費を考慮していない。



## 検討テーマ 4 廃プラスチック類の資源化

### ■エコプラン2018（東京都北区一般廃棄物処理基本計画）での記述

#### ○現況・課題

プラスチック類は、ペットボトルの資源回収によるマテリアル及びケミカルリサイクル、一部の店舗における白色トレイの自主回収によるリサイクル、その他のプラスチック類のサーマルリサイクルを実施している。しかし分別の徹底が十分ではないなど、資源の有効利用が十分に機能しているとは言えない。

今後は、温室効果ガス排出量などの環境負荷、最終処分場のひっ迫状況、ごみ処理経費などの指標をもとに北区に合ったリサイクル方法を検討する必要がある。（P22）

#### ○基本計画内における取り組み方針

廃プラスチック類のリサイクルについて、東京都における最終処分場のひっ迫状況やリサイクル方法の現状、収集運搬経費、環境負荷などの指標を考慮した上で、適切な処理方法を検討する。

また、廃プラスチック類の中間処理施設については、民間施設の受け入れ状況を勘案しながら検討する。

なお白色トレイは、拡大生産者責任の観点からも、現在のスーパー等による自主回収をさらに推進するとともに、区の拠点回収を実施することで回収量の増加を図る。（P40）

### ■法令や国等の動向

#### 容器包装リサイクル法について

##### 【概要】

家庭から排出されるごみの重量の約2～3割、容積で約6割を占める容器包装廃棄物について、リサイクルの促進等により、廃棄物の減量化を図るとともに、資源の有効利用を図るため、平成7年6月に制定され、平成9年4月から本格施行された法律。

##### 【対象品目】

容リ法の分別収集の対象となる容器包装は、ガラスびん、PET ボトル、紙製容器包装、プラスチック製容器包装、アルミ缶、スチール缶、紙パック、段ボール。アルミ缶以下の4品目については、すでに市場経済の中で有価で取引されており、円滑なリサイクルが進んでいるため、再商品化義務の対象とはなっていない。

### 【仕組み】

～消費者が分別排出、市町村が分別収集、事業者がリサイクル～

容器包装リサイクル法の特徴は、従来は市町村だけが全面的に責任を担っていた容器包装廃棄物の処理を、消費者は分別して排出し、市町村が分別収集し、事業者（容器の製造事業者・容器包装を用いて中身の商品を販売する事業者）は再商品化（リサイクル）するという、3者の役割分担を決め、3者が一体となって容器包装廃棄物の削減に取り組むことを義務づけたこと。



これにより、廃棄物を減らせば経済的なメリットが、逆に廃棄物を増やせば経済的なデメリットが生じることとなる。

### ■北区の取り組み

○発泡トレイの拠点回収、ペットボトルの回収

発泡トレイ 年間回収量 3 t 委託経費 451万円

ペットボトル年間回収量 1,267 t 委託経費 1億1,300万円

※発泡トレイの回収費には、紙パック回収分を含む

### ■他自治体での実施例

#### 【港区の事例】

- ・平成20年10月より、全国に先駆けて、区民及び少量排出事業者が排出する容器包装プラスチック及び製品プラスチックをリサイクルしている。
- ・容器包装プラスチックのリサイクルについては、プラスチック原料化（マテリアルリサイクル）を行い、製品プラスチックのリサイクルについては、ガス化（ケミカルリサイクル）によって、全量を有効利用している。

(収集品目)

- トレイ類（弁当容器など）
- フィルム・袋類（ペットボトルのラベル、ビニール袋、お菓子の袋など）
- カップ・パック類（カップ麺の容器、卵のパックなど）
- キャップ・ふた類（ペットボトルのキャップ、インスタントコーヒーのふたなど）

- ボトル類・チューブ類（シャンプーや洗剤の容器など）
- 緩衝材（発泡スチロール、エアキャップ、果物ネットなど）
- その他のプラスチック（CDケース、プラスチック製のハンガー、おもちゃ、ラップなど）

（出典：港区ホームページ、港区一般廃棄物処理基本計画）

■想定回収経費

- ・ 廃プラスチック類は、可燃ごみの組成割合で推計資源量を算出すると、6,356 t がある。そのうち 10% 分別回収すると、約 630 t のごみを減らすことができ、想定回収経費は約 4,500 万円かかる見込みである。

※想定回収経費は、推定資源量を車両で効率的に回収した場合のものであり、回収に係る日数、車両の台数、回収方法、処理経費を考慮していない。



■生ごみの水切りについて

	方法	削減効果 (%)	具体的取り組み	図	備考
1	手しぼり	12.5	生ごみを手でしぼる。		
2	三角コーナー	9.1	三角コーナーに生ごみを入れて水に触れないようにする。		<p>※平塚市ごみ減量化婦人の会が平成23年9月に実施した「水切り実態調査」から水切り方法を検証したものを一部抜粋した。1週間で水切り前の生ごみから水切り後の生ごみを比べ、どのくらいごみ量が減るのかを測定した。削減効果の数値は平均値。</p>
3	穴をあけたビニール袋	8.9	穴をあけたビニール袋に生ごみを入れて水を切る。		<p>削減効果出典：平塚市ごみ減量化婦人の会</p>
4	乾かす	20.4	生ごみを広げて乾燥させる。		
5	「生ごみカラット」	30.7	<p>①・水分を取った生ごみを新聞紙で包み(紙袋に入れ)中容器へ入れる。 ・包み(紙袋)を次々と重ねないで中容器に立てかけて入れる。</p> <p>②・新聞紙を折りたたみ、中容器の内側に沿わせるように敷く。 ・そこへ水分を取った生ごみを入れていく。 ・ゴキブリや虫が入らないようフタをする。</p> <p>①②の方法で生ごみを保管し、カラットは屋外におく。</p>		<p>出典：NPO法人 生ごみリサイクル全国ネットワーク</p>

代表的な雑紙（ざつがみ）の出し方（葛飾区の例）

- ・ティッシュの箱はビニールを取って、折りたたんで出してください。
- ・ポスターやチラシ類も雑がみです。
- ・請求書も個人情報を消して雑がみとして出してください。
- ・封筒や手紙は雑がみです。出す際は住所などの個人情報は消してください。
- ・おかし紙の箱も雑がみです。折りたたんで出してください。
- ・窓付き封筒を出す際は、窓の部分のビニールを外してから出してください。

「雑紙(ざつがみ)」の出し方

	
<p>大きい物は折りたたんで、紐など縛って出してください</p>	<p>小さな物は紙袋に入れて、まとめて出してください</p>

リサイクルできない雑がみの例

リサイクルできない紙類	リサイクルできない理由
アイスのカップ、圧着はがき、アルバム、紙コップ、紙皿、感熱紙、写真、洗剤の紙箱、ノーカーボン紙、パラフィン紙	特殊加工がしてあるため
紙おむつ（未使用）	特殊成分が入っているため
ウェットティッシュ、紙ナプキン、キッチンペーパー、コーヒーフィルター、ふすま紙	水に溶けにくい
ガムの包み紙	銀紙が付いているため
石鹸の紙箱、石鹸の包み紙、線香の空き箱、タバコの入っていた箱、	臭いが付いているため
ピザの空き箱	汚れ・臭いが付いているため
ストーンペーパー、トレーシングペーパー	紙でないため

※葛飾区ホームページ：代表的な雑がみの例と注意点及びリサイクルできる紙類辞典から一部抜粋再構成

# 制度案

【ポイント】リサイクルをしようとする者で構成される認定事業者は、市町村が回収した使用済小型電気電子機器の引取を実施。確実に適正なリサイクルを実施することを約束した者に限って国が認定し、廃掃法の特例を与える制度。

## ※全ての関係者が各々の役割を果たし、協力してリサイクルを実施

